

Photo 明石 徹、稲森 豊、郷田 満、滝沢 享

編集 滝沢 享 稲森 豊、岡田寿夫、杉原武弘

午後4時検寸終了。飯尾川右岸中流に入った郷田さんが良型を揃え優勝。2位の加藤さんはウナギ養殖場裏で最長寸40・4cmを釣り、3位の脇阪さんはその下流で良型を釣り入賞、釣果率88%。
 尚、秋季大会に多数の賞品を寄贈頂きありがとうございます。

十月十三日(日)、徳島県の河川に於いて、会員32名の参加を得て開催した。午前6時30分、旧吉野川三ツ合橋上流の駐車場に集合。
 稲森会長の挨拶、郷田理事長より競技方法の説明後、昨日からの試釣者より釣況報告があり、台風等の大雨後は全体に悪くマブナや亀が多く、ウナギ養殖場裏付近だけは釣れた様だ。
 フリーでの入川で、旧吉野川のウナギ養殖場裏や上流部、正法寺川、飯尾川に入った。ウナギ養殖場前は養殖場からの放水が殆どなく、いつもより厳しい状況だが、加藤さんが40cm上をゲット。
 正法寺川は数が釣れた様だが、尺前後が多かった。飯尾川は前日の午後から浅ダナで38cmクラスが釣れたが、当日はマブナやコイ、カメばかりが釣れたが、長竿を振っていた郷田さんの深ダナで良型が釣れるだけだった。

秋季大会

滝沢 享

秋季大会成績表

(ヘラブナ二尾長寸)

優勝	郷田 満	77.3	3cm	420点
2位	加藤 仁	76.9	9cm	410点
3位	脇阪 博蔵	74.7	7cm	400点
4位	柴田美恵子	73.3	3cm	390点
5位	藤井 秀和	72.7	7cm	380点
6位	川上大二郎	71.5	5cm	370点
7位	稲森 豊	71.2	2cm	360点
8位	明石 徹	70.6	6cm	350点
9位	田路 秀一	70.6	6cm	340点
10位	谷名 正博	70.5	5cm	330点
11位	滝沢 享	70.1	1cm	320点
12位	杉山 健一	69.5	5cm	310点
13位	伊藤 規行	68.7	7cm	300点
14位	高木 勇作	68.0	0cm	290点
15位	柴田 忠幸	67.8	8cm	280点
16位	鈴木 誠司	67.6	6cm	270点
17位	松下 英樹	67.6	6cm	260点
18位	藤井 栄子	67.5	5cm	250点
19位	白井 良紀	67.5	5cm	240点
20位	山本 真一	66.0	0cm	230点
21位	網島 清一	63.1	1cm	220点
22位	三木 修	62.2	2cm	210点
23位	北尾 博之	61.7	7cm	200点
24位	安藤紀久夫	61.3	3cm	190点
25位	井上 裕之	58.6	6cm	180点
26位	板東 英昭	55.9	9cm	170点
27位	栗原 天高	34.0	0cm	160点
28位	田中 秀雄	33.5	5cm	150点

(以下参加点100点)

岡田 寿夫、熊田 智文、大橋 充
 川村 静香



飯尾川左岸中州の北尾さん・熊田さん郷田さん・稲森さん



宮川内谷川で竿を出す高木さん、栗原さん



宮川内谷川で上位入賞の柴田美恵子さんと柴田忠幸さん



皆さんから寄贈頂いた豪華賞品!



旧吉野川から宮川内谷川へ場所替わりが成功! 松下さん

今年の秋季大会は範囲を広げて徳島全域の河川となり、以前、優勝した飯尾川も含まれる縁起の良い釣場で期待が膨らむ。

今年も前日からの釣行で稲森会長、脇阪氏、北尾氏との四人で枚方を出発。

徳島到着後、旧吉野川上流の釣場から視察。前日に降った雨で去年と比べると、水位は高く濁りもあるがモジリが少ない。宮川内谷川は、濁りも無くモジリがないので、今回、本命の飯尾川へと向かう。

飯尾川養殖場前は、養殖魚の縮小から昨年より2本の排水口の上流側だけの放水になっている。釣場に

着くと今年は、更に排水量が激減しており、放水による川の流れを緩和するまでに達していないし、残り餌が出ていないのか排水口に真っ黒になる魚の群れも少なく、真ブナの中に反転するヘラの姿が見えない。とりえず左岸側から竿を出してみよう、いつものように流れの途中で消し込むようなアタリが出ず、流し切りでアタリを待つと、鯉、真ブナに亀までもが。

対岸の実績ポイントの谷名さん、田路さんも同じで昼すぎに諦めて昼食タイム。

午後からは、朝、地元の釣人が35cm級を釣っていた養殖場から約300m程上流の中洲へ移動。それぞれ分かれて竿を出すことにし、中洲下流先端から21尺、棚1本で集魚効果のあるバラケとグルテンのセットで打ち始める。

ここも真ブナが多く、ヘラかと思えば目が鋭く鱗がおかしい。北尾氏は、型は小さいながらも5枚のヘラを釣っている。稲森会長も14尺でタナを浅くして38cmを釣り、脇阪さんも36cm級を2枚上げていた。僕だけが蚊帳の外。タナを上げて集魚材は避けて両マッシュに切り替えてから夕方へヘラの顔が見ることができた。

大会当日は、朝の諸行事を済ませたあと前日試釣の飯尾川中洲へ急ぎ出発。

途中、養殖場前のポイントには、ホームページを見たのか、おそらく関西圏からの釣人7、8人が釣座をセッティングしている最中で、それを横目で見ながら上流の中洲ポイントへ。

中洲先端沖目にモジリが多いので、前日と同じポイントに釣台をセッット。

風があつて振り辛い、長竿が好きなので21尺を継ぎかけると、稲森会長から、何処へ行っても馬鹿の長竿と冷やかされながらも、意思は固く21尺を継ぐことに。

朝の冷え込みと北風のせい、昨日の棚では打てどもアタリが遠いので、ウキ下2mまで下げて手返し早く打ち返す。やっとアタリが出だし真ブナの後、38.3cm、続いて39cmが釣れて権利確保。

その後も真ブナに混じり型は小さいながらもヘラが釣れ出した。

前日、好調の北尾くん、稲森会長は、ヘラが釣れないと嘆いている。特に稲森会長のポイントは浅いように、1.8m程で床に着いてしまい、前日のようにはいかず鯉と亀に悪戦苦闘されている。

昼食後は、両氏共、両マッシュに

長竿21尺で向きも変えての釣りでも権利を獲得。

集合場所へ到着すると、ほとんどの会員さんに釣果があったものの意外と型は伸びなかったようで、思いもよらない徳島3度目の優勝が舞い込んだ。



優勝者 郷田 満

大会当日は、朝の諸行事を済ませたあと前日試釣の飯尾川中洲へ急ぎ出発。

途中、養殖場前のポイントには、ホームページを見たのか、おそらく関西圏からの釣人7、8人が釣座をセッティングしている最中で、それを横目で見ながら上流の中洲ポイントへ。

中洲先端沖目にモジリが多いので、前日と同じポイントに釣台をセッット。

風があつて振り辛い、長竿が好きなので21尺を継ぎかけると、稲森会長から、何処へ行っても馬鹿の長竿と冷やかされながらも、意思は固く21尺を継ぐことに。

朝の冷え込みと北風のせい、昨日の棚では打てどもアタリが遠いので、ウキ下2mまで下げて手返し早く打ち返す。やっとアタリが出だし真ブナの後、38.3cm、続いて39cmが釣れて権利確保。

その後も真ブナに混じり型は小さいながらもヘラが釣れ出した。

前日、好調の北尾くん、稲森会長は、ヘラが釣れないと嘆いている。特に稲森会長のポイントは浅いように、1.8m程で床に着いてしまい、前日のようにはいかず鯉と亀に悪戦苦闘されている。

昼食後は、両氏共、両マッシュに

長竿21尺で向きも変えての釣りでも権利を獲得。

集合場所へ到着すると、ほとんどの会員さんに釣果があったものの意外と型は伸びなかったようで、思いもよらない徳島3度目の優勝が舞い込んだ。



飯尾川で良型を手に・郷田さん



飯尾川の38cm級のヘラブナ



旧吉野川周辺 上位入賞ポイント

秋季大会 徳島県の河川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 郷田 満	21尺	2号	1号	上 11号 下 11号	上下とも マッシュ、藻べら BBフラッシュ、新べらグルテン	水深2m 宙	7枚
2位 加藤 仁	16尺	2号	1号	上 10号 下 10号	上下とも マッシュ	水深0.6m 宙床チョイ切り	7枚
3位 脇阪博蔵	18尺	1.5号	1号	上 8号 下 6号	上 マッハ、BBフラッシュ、 下 マッシュ、野べらグルテン	水深1.2m 床	4枚
4位 柴田美恵子	15尺	1.5号	0.8号	上 10号 下 9号	上下とも 新べらグルテン いもグルテン、α21	水深1m 床	10枚
5位 藤井秀和	19尺	1.5号	0.8号	上 11号 下 11号	上下とも マッシュ、藻べら 赤へら、マッシュダンゴ	水深1.5m 宙	6枚